



NIA SQUARE スクウェア

Quarterly News

第81号

2008年3月1日
習志野市国際交流協会

- ◆今協会では 本年度の事業（活動）報告
- ◆世界のニュース チェコ大使館訪問記
- ◆姉妹都市通信 USA Triathlon Olympic Trials

- ◆協会ニュース 各部会の活動報告（概要）
- ◆SQUARE'S SQUARE チャレンジ
ザ・英文クロスワードパズル
読者の広場

今協会では—平成19年度の活動報告

本年度は、協会設立20周年の節目の年であり、特に記念事業の推進に力を注ぎました。ここでは、協会全体にかかわる主な事業（活動）について報告します。

■協会設立20周年記念事業を盛大に開催しました。



記念誌の作成を皮切りに、山田会長の指揮のもと、交流部会・日本語学習部会を中心に各部会が連携協力し、協会の総力を結集して取り組みました。

記念誌の表紙は、世界の平和と友好への願いを込めて宇宙船地球号を表現しました。

記念式典・記念講演・記念祝賀会は、平成19年8月4日、茜浜ホールにおいて、会員・来賓等106人の出席のもとに盛大に挙行することができました。参加者一同、協会のますますの充実と発展を祈念して親睦の輪を広げました。

詳細は、NIAスクウェア第79号をご覧ください。

■M&MTourを通してタスカルーサ市と草の根の交流 協会として初めての市民レベルでの姉妹都市交流に取

り組み、一味ちがう成果を収めました。語学研修部会の活動報告の中で紹介されていますので、ご覧ください。

■新しい会員確保に努めてきました

本年度新たに117人の方に会員になっていただきました（平成20年1月28日現在）。日本語の学習をするために加入された在住外国人の方、日本語ボランティア講師として活動するために加入された方、韓国語講座や中国語講座などの受講をきっかけに加入していただいた方など、それぞれ目的をもって加入していただきました。

現在、当協会には個人会員が580人、家族会員が45人、団体会員が32団体加入しています。全体で32団体625人となります。その中に在住外国人の方が153人います。日常の日本語学習をとおして日本語ボランティア講師の方々とのふれあいを中心に、いろいろなイベントでの交流をとおして多文化理解を深め、親睦を深めています。「内なる国際交流」として、「外なる国際交流」とともに協会の2本の柱の1つになっています。

一方で、退会された方が159人います。今後一層工夫して、新会員の確保に努めることが必要です。

■広報活動に力を入れてきました

会員の皆さんには「NIAスクウェア」や「RAINBOW」で、協会の活動の様子をお知らせしていますが、

広く市民の方たちにも協会の活動を知ってもらうように、他の情報機関に依頼して広報活動を拡充してきました。例えば、あさまる通信では、第69号（平成19年4月発行）で「世界の料理教室」を、地域新聞4月13日号では、「日本語を学習する外国人によるスピーチ茶話会」、ならしの朝日（平成19年3月20日）では「日本語でスピーチ茶話会で国際交流」、さらに船橋よみうり（平成19年7月発行）では、「習志野市国際交流協会ふれあい掲示板「あげます」「ください」「友達募集」「情報交換で深まる交流」、ならしの朝日では、「お知らせコーナータスカルーサM&Mツアー」（平成19年7月20日発行）、「国際交流協会20周年記念 在住外国人とのかけ橋」（平成19年8月20日発行）「日本の礼法学ぶ 国際交流協会文化セミナー」（平成20年1月20日発行）など、新聞各紙に掲載していただきました。その他、「広報ならしの」、タウンテレビ「JCN船橋習志野」などにも取り上げられています。

これからも積極的に掲載、収録を依頼して、当協会の活動の様子を発信することによって、その役割や意義についての認識を深め、関心を持っていただけるようにしていきたいと考えています。

■語学研修講座の充実

語学研修部会の活動として、「初級中国語講座」「初級韓国語講座」を開催しました。北京オリンピックに向けて始まったこの講座ですが、本年度は第3年次の継続事業となりました。単年度の事業ですが、受講者の皆さんは、受講終了後も独自に講座を継続して学習を進めるなど意欲的に取り組んでいます。1年目受講グループ、2年目受講グループ、3年目受講グループの方々がお互いに場所や時間を調整しながら、新たな学習形態や方法を工夫して展開しています。

■在住外国人へのサポート&ヘルプ

習志野市には、約2,700人の在住外国人の方がいます。国際化の進展に伴い、今後ますます当協会を利用する方が増加することと思われます。これらの方々がことばの壁に困ることなく、安心してこの習志野市で生活できるように、日本語の学習支援はもちろん、生活上のいろいろな問題についての相談にも応じるなど、必要に応じた適切な対応ができる活動を拡充していくことが今後必要になるものと思われます。

例えば、市民窓口サポートがあります。パスポートや市民登録証のチェック、来日目的や在住期間の確認など

の支援です。また、日常生活のノウハウを教えてあげる。電車のキップの買い方、電車の乗り方、地図の見方など日々の生活に必要なことを身につけるための支援です。

■原点に戻る

習志野市国際交流協会は、何のために設立されたのでしょうか。時の経過とともに設立当初の理念があいまいになってしまうことがあります。「温故知新」といいませんが、協会設立20周年という節目の年に、原点を振りかえってみるのも意味があると思います。

昭和62年4月に、当時の習志野市国際交流協会設立準備委員会 林安次会長によって書かれた「習志野市国際交流協会 設立趣意」書に次のように書かれています。

『今、世界における日本の役割は、非常に大きくなっています。私達の生活も国際社会の動きに大きなかわりを持っていることはいうまでもありません。中でも21世紀を担う青少年は、国際的感覚を身につけ、広い視野で物事を洞察する心が必要です。』

このためには、国の外交だけでなく、住民レベルでの教育、文化、スポーツ、産業など広範囲にわたる外国との交流によって、相互のふれあいが重要であります。

習志野市は、地域文化の活性化に国際化を加え、これまで遅れていた人物交流、文化交流を焦点とした国際交流を行うために、アメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市と姉妹都市の提携を行いました。この中で習志野市とタスカルーサ市は、両市の繁栄と友情、相互理解と友好親善を将来に向かって深めることを誓い合いました。

私達は、タスカルーサ市との交流を実りあるものにする 것과あわせて、世界各国の人々とのふれ合いによって国際性豊かな習志野市民となるため市民一人ひとりの力を結集して「習志野市国際交流協会」を設立するものです。

本会議の活動は、広範な市民の皆さんに参加して頂かなければなりません。そして、21世紀へむけて、国際性豊かな資質をもつ習志野市民となるための活動を進めてまいります。』

このことをお互いにしっかり認識してこれからの活動を発展的に推進していきたいと考えます。

チェコ大使館訪問記

青少年部会では、昨年度よりかるた大会に使用する音声録音のために大使館訪問をしており、その中でお世話になったチェコ大使館の方にチェコの歴史や文化について書いて頂きました。

現在、チェコはヨーロッパ各国の中で、観光地として最も注目されている国です。特に首都プラハの人気は高く、季節を問わず多くの人々が旧市街広場の天文時計を眺め、カレル橋を渡り、プラハ城に足を踏み入れています。プラハ城内の聖ヴィート大聖堂はチェコのゴシック様式建築の傑作の1つですが、これと双璧をなす建築をご紹介します。その建築がある町は、またチェコの歴史上、とても重要な町で、世界遺産にも登録されています。



プラハから列車で1時間ほどのところにクトナー・ホラという人口約21,000人の静かな町があります。この町は中世にはプラハに次ぐ第2の町で、銀の採掘で栄えました。今のチェコ共和国の西半分にあたるボヘミア地方をプシェミスル家が治め始めたのは9世紀頃で、11世紀には東半分のモラヴィア地方もその版図に含み、それからチェコ王国となります。14世紀にプシェミスル家の男系断絶後、ルクセンブルク家が王位を継承します。1346年にカレルがチェコ王につき、その後神聖ローマ皇帝カレル4世となったときにチェコ王国は最盛期を迎えます。プラハに宮廷が置かれ、帝国の中心都市となりました。この13~14世紀の繁栄を支えたのがクトナー・ホラで採掘された銀です。この銀はヨーロッパ中に供給され、チェコ王はヨーロッパで最も裕福な王の1人でした。「プラハ・グロシュ」という貨幣も铸造され、造幣局には王宮も置かれました。

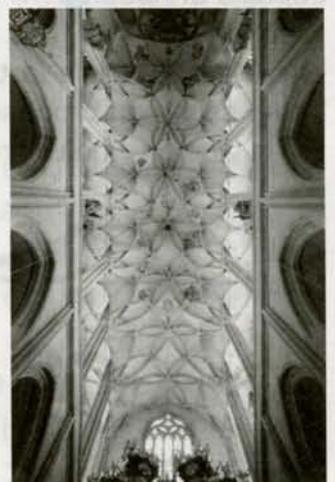
このクトナー・ホラの歴史地区で際立っているのが、抗夫の守護聖人の名を冠した聖バルボラ大聖堂です。この大聖堂は、プラハのカレル橋や聖ヴィート大聖堂を建



築したペーター・パーラーの工房により、1388年から建築が始まりました。15世紀初めの宗教戦争等で建設はいったん中断しますが、チェコ出身のマチェイ・レイセクや南ドイツ出身のベネディクト・リートらが建築を引き継ぎます。その後、財政難で再び建築はストップ、そしてイエズス会の努力により、17世紀に完成しました。チェコの後期ゴシック様式建築の最高傑作に数えられます。内部のリヴ・ヴォールトはとても見事で、抗夫や貨幣铸造人を描いたフレスコ画もよく保存されています。大聖堂の外壁をめぐるフライング・バットレスはこのほか目を引きまします。聖バルボラ大聖堂には、この種の教会建築に普通見られる高い塔がなく、代わりに写真のような尖った屋根が異彩を放っています。

チェコ王位は、15世紀前半にルクセンブルク家が断絶し、フス派のチェコ貴族が一時王位を継いだあと、ヤグウォ家、ついで16世紀にハプスブルク家に渡り、1918年のチェコスロヴァキア共和国独立まで続きます。クトナー・ホラの銀は16世紀には枯渇し、その頃造幣局も閉鎖されました。(銀採掘の中心は西ボヘミア地方の町ヤヒモフに移り、ここで铸造された貨幣ヨアヒムスターラーはドルの語源となります。) 中世ボヘミアの面影を偲ぶならば、この静かな町がぴったりでしょう。

チェコセンター 観光部
ČESKÉ CENTRUM



問2 日本の大学進学率は、世界で第()位である。



**TUSCALOOSA, AL
APRIL 19, 2008**

**olympic
triathlon 08**

Tuscaloosa is the Sight for the USA Triathlon Olympic Trials

The 2008 U.S. Olympic Trials for triathlon will be held in Tuscaloosa, Alabama on Saturday, April 19, 2008.

Tuscaloosa was chosen based on its success with hosting USAT Collegiate Nationals earlier this year and the course's match with that of the Olympic Games course in Beijing, China.



"The course more than meets our needs on the performance and competition side," said USAT Sport Performance Director Scott Schnitzspahn. "There are many similarities between this course and what the athletes will experience in Beijing, especially the hill climb on the bike. It's a good match for our needs."

Officials are also pleased with the enthusiasm expressed by the mayor's office and the local community during the search process. "USAT is absolutely thrilled by the unprecedented level of support Tuscaloosa officials are providing to Olympic Trials and Collegiate Nationals," said USAT National Events Director Jeff Dyrek.

"We are deeply appreciative of the confidence shown to the City of Tuscaloosa by the USOC and USAT to host this historic event," said Mayor Walt Maddox.

"The U.S. Olympic Trials for triathlon has officially woven Tuscaloosa into the global fabric of the Olympic tradition."

"We're proud to showcase Tuscaloosa on a national and international level during our State Tourism Office promotion of the Year of Alabama Sports," said Robert Ratliff, Executive Director of the Greater Tuscaloosa Convention and Visitors Bureau. "This event expands our diversity of sporting events that Tuscaloosa is capable of hosting."

The Olympic Trials is the second event in the 2008 U.S. Olympic Team selection process that will field the three American men and three women who will represent the U.S. in Beijing in August.



〈トライアスロンってこんな競技です〉 -JTUより-

トライアスロンは、アメリカ合衆国・カリフォルニア州サンティエゴで、1974年に誕生しました。

トライアスロンは、スイム（水泳）、バイク（自転車）、ランの3種目を連続して行う競技です。距離は、スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmトータル51.5kmが認定されています。この数値は「ザ・トライアスロン」という規定です。

問3 日本の豊かさは、世界で第()位である。

【姉妹都市交流部会】

今井 洋子

(4月～10月 M&M Tourの実行委員としての活動)
(6月から8月 習志野市国際交流協会設立20周年事業に関する協力)

6月 タスカルーサ市とアラバマ大学主催の桜まつり俳句コンテスト。本年度の受賞者10名(受賞者及び作品は、9月1日発行のSQUARE79号、とHPに掲載)

*同俳句コンテストの日本語部門は本年度をもって終了する旨ジェーンめスタンフィールド副学長より連絡有り

10月 M&M Tour (10月4日～12日)に参加

*5日“University Club”でのランチタイムにジェーン・スタンフィールド副学長が出席された折に同俳句コンテストの日本語部門を復活してもらえるよう申し入れたところ、帰国後、山田会長と諸条件を整備して改めてお願いすることになった。

11月 アラバマ大学アン・ラモス教授来日の折に今後のM&M Tour などについて検討

*俳句コンテストについては、一人一句の応募とする等のアメリカへ送付する句数の条件を設定し、山田会長は、アラバマ大学副学長に日本語部門の復活を強く要請した。

*副学長より同、復活の承諾をいただいた。テーマは「鏡」

桜まつり俳句コンテストとタスカルーサ市姉妹都市主催のアートコンテスト応募作品の依頼を市教育委員会を通じ市内各学校、成人部門は市民カレッジ、会員、市民へ呼びかけた。

平成20年度タスカルーサ市青少年団受け入れ準備会議 第1回、11月12日

12月 同第2回、12月6日、第3回、20日

1月 同第4回、1月24日



俳句コンテストと絵画コンテストの作品受付

アラバマ大学へ題字を送付

2月 絵画は航空便、俳句はE-Mail添付ファイルで送付

3月 平成20年度タスカルーサ市青少年受け入れ準備会議 第5回、3月6日

【日本語学習部会】

松井 徹

【日本語学習で異文化交流を】

本年度も在住外国人とその子女を対象に、「地域社会で日本語を話し、楽しく日常生活を過ごせる」ように、初・中級レベルの日本語学習をできる範囲で支援してきました。現在ボランティア講師100人、学習者25カ国102人が目的意識を持って楽しく学習しています。

当部会では、日本文化の体験を通して日本文化への理解と会員相互の親睦を深めるため、1月には新年茶話会、7月には七夕祭り、あすなる会では、ちぎり絵・書道・生け花・和菓子教室等を開催しました。7月の習志野きらっと祭りには、NIAサンパチームとして参加しました。12月にはボランティア講師のスキルアップを目的に、外部講師による「日本語勉強会」を3日連続開催、延べ132人が参加しました。来る3月には、毎年恒例の学習者による「スピーチ茶話会」を予定しています。

スクウェア78号で紹介しましたが、会員同士の不用品リサイクルと情報交換を目的に、「ふれあい掲示板」の活動を開始し、ふなばし読売にも「新しい交流活動の取組み」として注目、紹介されました。

平成20年度は、本年度休講しました日本語ボランティア養成講座も秋頃、再開講する予定です。



▲新年茶話会で楽しく歓談する土曜学習の子どもたち

【語学研修会】

勝又 陽子

語学研修部会では、今年度も引き続き、身近な国の言葉として韓国語と中国語を学ぶ講座を開催しました。

毎年、定員15名を上回る申込みのため抽選になっていますが、和やかな空気の中にも皆さん着々と学習成果を上げています。

この夏開催される北京オリンピックの経済効果もあり、めざましい発展を背景に日本を訪れる中国からの観光客の数もふえつつけていることから、今後も活発な交

問4 モスクワの物価高は、世界で第()位である。

流が期待されるふたつの言葉を来年度も開催する予定です。「広報習志野」「NIAスクウェア」「RAINBOW」などで募集しますので、関心のある方はご応募ください。NIA会員優先です。

また、今年度は、タスカルーサ市と習志野市、この姉妹都市間で長い間の懸案事項だった「おとなのための語学研修講座」M&Mツアーを初めて実施しました。

実施時期は2007年10月4日から12日の7泊9日、参加者14名。何もかも初めての手探り状態の中、草の根レベルの文化交流としては一定の成果をあげ、また多くの反省面がありながらも無事終えたことを企画した部会の担当者として、関係者のみなさんに深く感謝申し上げます。

この成果を今後につなげていくために、語学研修に関するどんなことでも、活発なご意見を寄せてくださるようお願いいたします。

【広報部会】

石川 澄郎



今年、SQUAREの経費節減と、内容の充実への努力の1年であった。まさに試行錯誤の繰り返しとも言えるだろう。減ページか発行回数を3回にするか、悩んだ末、81号から8ページ立てでスタートと決定。

ここにお届けすることができた。80号までと比較していただき、ご批評賜れば幸いです。

1年を振り返ってみると、SQUAREに対する小中学生の反応が「読者の広場」などを通して確実に手ごたえとして感じられるようになったことである。未来を託す青少年が、国際交流に関心を持ってくれることは何よりも心強いことである。

また、本年はNIA設立にあたり、記念誌の発行に携わった。ページをひもどくと、あらためて協会のたしかな歩みが伝わってくる。

【交流部会】

吉田 武

交流部会は、会員のみならず多くの方との交流を大切に19年度も活動しました。

NIAの設立20周年の大きな節目の年でもあり、5月の総会にも参加し、会員の集いも86名の参加の下、楽しく過ごしました。11月には、人気のバスハイクです。今回は、日本の玄関といわれる成田空港、航空博物館、成田夢牧場の千葉県内の3箇所です。空港では、目前で多くの飛行機の離着陸を見て、航空博物館では飛行機のシュミレーションを体験し、夢牧場では、牛の搾乳の体験や多くの動物や自然とのふれ合いに、あっという間の1日でした。約30数名の参加でした。

新年1月には菊田公民館で恒例のもちつき大会を行いました。事前準備が大変なのですが、町づくり推進課のスタッフをはじめ、事務局の皆さん、関係者の多大なるご協力により、実施出来ました。学習者やお子さんにも楽しくもちをつきました。参加者は、60名を越えました。3月にはバーベキュー大会もあります。場所は香澄公園です。お問い合わせの上参加ください。今後は学習者の参加が増える企画を立案したいと考えております。



【文化部会】

岩橋 紘栄

文化部会は、いろいろな国の文化や伝統などを通してお互いを理解し、交流を深めていくことができるように努めてきました。

「世界の料理教室」では、NIAで日本語学習の経験を持つ外国出身の方に講師をお願いしています。今年度は、マレーシア・中国（四川）・ロシア・フィリピン（2月実施）料理を教えてくださいました。日ごろ目にしない珍しい食材を使ったり、変わった調理法を経験しました。

文化セミナーは、3回行いました。1回目は、箏曲を鑑賞し、演奏も体験させてもらいました。中国の若い男性が、初めて琴に触れたのに上手に弾けてうれしそうでした。2回・3回目は「日本の礼法」を、和室と洋間の

礼法に分けて教えていただきました。質問が出席者から次々に出て、日本人でも知らない部分が多い礼法の奥の深さを感じました。日常的にげなく行っている食事の仕方・お辞儀の仕方・ドアの開け閉めなど、いろいろな所作を見直す機会になりました。10月に行われたおとなのための語学研修「M&M Tour」には、前文化部会長志知さんが、実行委員として計画当初より携わり、同行しました。これからも皆様のご参加をお待ちしています。



【通訳・ホームステイ部会】

山口 大二郎

毎月曜日ALT（英語指導助手）2名を招きチャットde ALTで交流を図っております。学校が休暇に入ると多くの子供達が参加、2グループに分けて子供達には英語を通して国際感覚に慣れてもらおうと活動しております。経験豊かな会員の方々へのコメントはALTにとって役立つようです。習志野交流会設立20周年式典ではゲストのアテンド、在住外国人に対してはコミュニケーションのお手伝いが出来ました。



来年度6月にはタスカルーサより14名の青少年訪問団が来習します。部会ではホームステイ、学生交流、体験学習プログラムなどを通し、より深い日本への関心、親近感を抱いて頂けるように活動したいと思っております。

【青少年部会】

高橋 順子

青少年部会は、若い世代が中心となって活動している部会です。今年度は、更なる活動の充実と部会員同士の親睦を図るため、定例会を原則月2回開催しました。又、長崎原爆記念式典への参加・こんにちはカルタ大会の開催・大使館訪問は、昨年度より継続して行っています。

他には、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。今回は、ツリーを飾り、写真再生ゲームやビンゴゲーム・プレゼント交換をして盛り上がりました。来年度は、今までの活動を継続して行っていますが、今後の活動を中身の濃いものにするため、部会研修として近隣や都内の国際交流協会を訪問する予定です。青少年部会は、皆で楽しく活動している部会です。興味のある方は、一度、事務局に遊びに来てください。部会員も募集中です。お待ちしております。



■中学生・高校生の皆様へお願い

中学生・高校生のみなさん、いつもNIAスクウェアを読んでいただきありがとうございます。皆さんに楽しく読んでもらえるように、クイズ「数字でとらえる日本と世界」など内容にも工夫をしていますが、いかがですか。回答者が増えて嬉しく思います。

国際交流協会では、世界を身近に感じながら、いろいろな国の人々との交流・親睦を深めることができます。青少年部会で一緒に活動してみませんか。入会をお待ちしています。

【会員の皆様へお願い】

姉妹都市交流部会、交流部会、広報部会、語学研修部会、文化部会で活動していただける方を必要としています。より多くの皆様に参加して下さるようよろしくお願い致します。

SQUARE'S SQUARE

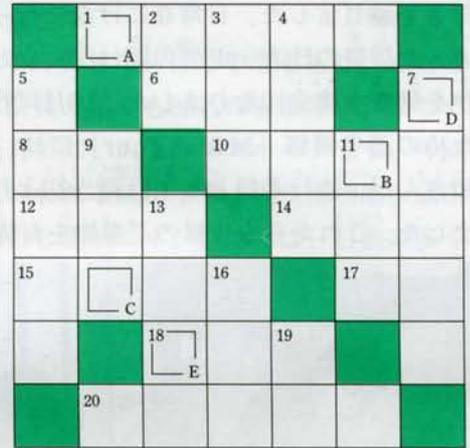
Let'sチャレンジ/ザ・英文クロスワードパズルNo.81/プレゼント付!

<Across>

1. Opposite of war
6. california
8. Labour Party
10. Situated at or toward the front.
12. American Expeditionary Forces
14. The dried leaves of an evergreen Asian shrub, steeped in boiling water to make a drink.
15. White substance obtained from mines, present in sea-water, used to flavour and preserve food.
17. Doctor
18. Against All Risks
20. Heron

<Down>

2. East Central
3. Army Air Forces
4. A thickened mass or lump.
5. Hard, easily broken substance of which window-panes are made.
7. Hear, --, heard,
9. Plant with seeds in pods used as food.
11. The colour of fresh blood.
13. The "HINOMARU" is a Japanese National --,
16. Black substance, thick and sticky when melted, obtained from coal.
19. Royal Engineers



<出題者> 御園生 馨 (編集部)

<応募要項>

クロスを解いたあと、A-Eの文字をつなげてできたことがばが正解です。

解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、FAX、Eメールで4月末日までにお送り下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に、NIA特製記念品をプレゼントします。

「NIAスクウェア」編集部まで。

たくさんのご応募をお待ちしています。

前回の解答

<解答> TWENTIETH ANNIVERSARY

T	U	S	C	A	L	O	O	S	A
Y	B	A	E	A	T	L			
P	D	N	E	A	R	V	T		
E	L	M	N	D	T	O	E		
W	A	N	D	O	E	R			
R	A	K	E	D	R	A	M	A	
I	C	E	H	E	M	A	T		
T	E	H	E	L	P	N	I		
E	B	E	T	O	W	O			
R	E	C	R	E	A	T	I	O	N

<クロスワードパズル正解者>

熊谷あゆみさん 宮地 瑠香さん
長房 敦子さん 野島 安理さん
内田のり子さん

他18名の方たちが正解されました。

読者の広場

○熊谷あゆみさん (東習志野・中学生)

初めて応募しました。私は姉妹都市研修派遣に参加したので、毎回「姉妹都市通信」を楽しみにしています。これからも読んでいきたいです。

○宮地瑠香さん (大久保・中学生)

英語もクロスワードも好きなので、挑戦してみました。知らない単語が多々出てきたので辞書を片手に格闘していました。全部埋まらなくても答えは出たのですが全部埋めたくて答えが出たあとも辞書をつらつらいじり続けましたが、どうしてもDownの7が分からなくて悔しいです。応募に必要な回答だけでなく、全部埋めた解答も教えて欲しいです。知らない単語を覚えられるのが良いのですから。クロスワードの話ばかりになりましたが、NIAスクウェアは身近な話題が多かったりして、親近感を持てる所もいいところだと思います。前号ではタスカルーサへ行った人とかのがあったりしました。友達が載っていました。20周年

とは驚きです。これからもスリム化と同時に充実化を図って頑張ってください。私としては知識の宝庫になることを願っています。

○長房敦子さん (船橋市・公務員)

習高の英語科職員です。毎回楽しみにしています。

○野島安理さん (津田沼・医療事務)

中国桂林のレポートが良かった。日本では、欧米に憧れを抱き、アジア諸国は見下すといった人が多いと感じる。最近のニュースもマイナスイメージになるものばかりだ。中国の良い所ももっと取り上げて欲しい。

○内田のり子さん (谷津・主婦)

NIA設立20周年ならびにスクウェア第80号発行おめでとうございます。姉妹都市通信を興味深く読ませていただきました。料理を通じて会話が弾む様子が目に浮かびました。改めて「食」はコミュニケーションの原点だと感じました。

編集後記

●81号をお届けします●今号から減ページとなり、スリムになりました●だからといって必要な情報は入れ質を落とさぬ努力したつもりです●国際化の中では、視野を広げることが大事です●今回はあまり触れたことのなかったチェコ共和国を紹介します●また、タスカルーサ通信では、リサ先生から、北京オリンピックを目指し、トライアスロンのトライアルの紹介がありました●この競技はアメリカが発祥の地です●声援を送りたいと思います●本誌への中高生の関心が高まっているのは嬉しいことです●ページの余白に小問題があります●()の中に数字を入れ、合計した「数」をNIA事務局にお送りください●正解者に賞品を差し上げます。 (編集部)

N.I.A.スクウェア・第81号

発行2008年3月1日/発行責任者・山田大三

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・石川 澄郎

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード津田沼4F

TEL/FAX 047-452-2650

http://www1.seaple.ne.jp/nia

<Eメール> nia@seaple.ne.jp